

平成 28 年度事務事業評価表(公共事業・継続)

No. 447

事務事業名	公園再整備事業
-------	---------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	河川公園課		
課長名	浦山 弘幸	内線	426
担当者名	一瀬 崇	内線	436

基本目標	050303	機能的で環境と調和したまち
政策		快適で暮らしやすい都市環境の整備
施策		公園・河川の整備
関連施策		

会計	一般会計	
款	8	土木費
項	5	都市計画費
目	4	公園新設費
事業コード	040000	公園再整備事業

事業類型	7	施設等整備事業(負担金含む)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	街区公園		
意図 対象をどのような状態にしたいか	老朽化している街区公園を年に1箇所ずつ、時代のニーズを取入れ、安心して利用できる、地区住民のふれあいの場としての公園再整備を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	市内41箇所の街区公園を地区住民の意見を取り入れ、幼児から高齢者までが楽しく過ごせる空間を創出するとともに、緊急時の避難場所としての機能を併せもつ公園として再整備を行う。		
事業期間	平成 7 年度 ~ 平成 50 年度	実施方法	直営

成果指標名	街区公園再整備率			算定式等 再整備完了公園数(15) / 対象街区公園数(41) × 100%
着手前現状値	平成 23 年度	単位	%	
完了後計画値	平成 50 年度		36.6 100	

【DO(実施)】

事業実施項目	25年度まで	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
基本計画	実績・計画額							
	項目別進捗率							
実施設計	実績・計画額							
	項目別進捗率							
用地・補償	実績・計画額							
	項目別進捗率							
建設工事	実績・計画額	536,016	0	0	0	0	39,600	39,600
	項目別進捗率	51.40%	51.40%	51.40%	51.40%	51.40%	55.20%	59.00%
事務費等	実績・計画額	8,592	0	0	0	0	400	400
	項目別進捗率	39.30%	39.30%	39.30%	39.30%	39.30%	41.13%	42.96%
合計	実績・計画額	544,608	0	0	0	0	40,000	40,000
	項目別進捗率	51.15%	51.15%	51.15%	51.15%	51.15%	54.91%	58.67%

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	0	0	0	40,000	40,000	1,064,688
国庫支出金								
県支出金								
地方債						30,000	30,000	748,650
その他								
一般財源						10,000	10,000	316,038
② 人件費(千円)	0	0	0	0	事業内容	事業内容	事業内容	B/C
職員人数(人)								
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)						公園再整備 1式(2箇所)	公園再整備 1式(2箇所)	
フルコスト(①+②千円)	0	0	0	0				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	財政事情を勘案し、昨年同様事業を休止している。
事業が抱える問題・課題等	老朽化した施設の維持管理において、必要最低限の補修にとどめざるを得ない。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	過密化する住宅事情のなか、付近住民の身近な憩いの場、ふれあいの場、健康増進の場としての公園の役割は大きい。公園を設置してから相当年数経過した公園は、施設も老朽化が進んでおり、時代のニーズに合った安全で利用しやすい公園を住民に提供しなければならない。						
有効性	【緊急性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	老朽化した施設は不足の事故や、修理経費等維持管理経費の増大に繋がる。						
効率性	【施策成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	公園を利用者のニーズにあった再整備を行うことにより、地区住民に憩いの場、ふれあいの場、健康増進の場として安全で安心して利用できる空間として提供する。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり	該当なし		
	既設遊具及び施設の再利用等によりコスト削減に努めているが、さらに公共工事コスト削減に取り組む。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	利用者が不特定多数であり受益者負担は考えられない。						

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	その他の見直し	
--------	---------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	H27年度からH28年度まで、公園施設長寿命化計画策定事業を実施しており、公園施設の適正かつ計画的な維持管理の方針を明確化し、補修修繕もしくは更新の年度計画を立て、維持管理を行うものとする。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	公園施設長寿命化計画を策定することにより、効率的な再整備計画を進めることができる。

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。